

## プラント状況確認結果(平成27年2月24日～平成27年3月3日)

平成27年 3月 3日  
福島県原子力安全対策課

○ 平成27年2月24日～平成27年3月3日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

⇒ 平成27年2月24日、福島第一原子力発電所において、高濃度の放射性物質を含む雨水がK排水路から港湾外へ流出していたとの報告を受けました。詳細については[こちら](#)をご覧ください。

⇒ 平成27年2月22日、福島第一原子力発電所の構内側溝排水放射線モニタにおいて、警報が発生し、警報値を超える放射性物質を含む水が港湾内に流出しました。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

### (1) プラント状況(3月3日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 <sup>※2</sup>
原子炉 <sup>※1</sup> (核燃料)	冷却	注水量 (m <sup>3</sup> /h)	4.5	4.3	4.4	—
		圧力容器 下部温度(°C)	<a href="#">15.2</a>	<a href="#">20.6</a>	<a href="#">18.0</a>	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 <sup>※3</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> )(A系)	8.08×10 <sup>-4</sup>	検出限界未満	検出限界未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系)(体積%)	0.01	0.05	0.07	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	13.5	27.1	21.4	8.4

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧ください。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 保安規定に定める制限値は、1 Bq/cm<sup>3</sup>以下である。

### (2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(3月3日午前10時)

最小 1.100(MP-6)～最大 3.713(MP-3) マイクロシーベルト/時 →[計測地点の地図](#)

### (3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果(3月2日採取分)

最小 検出限界未満(物揚場前、6号機取水口前)～最大 19(4号機スクリーン) Bq/ℓ

### (4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果(3月2日採取分)

5,6号機放水口北側に30m:悪天候により採取中止

1～4号機放水口から南側に1.3km:悪天候により採取中止

### (5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果(3月2日採取分)

西門:検出限界未満 ※検出限界値は約1×10<sup>-7</sup> Bq/cm<sup>3</sup>

### (6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果(3月2日採取分)

最小 検出限界未満(4号機)～最大 270(2号機) Bq/ℓ

**【参考事項】**

2月24日 福島第一原子力発電所の2号機原子炉建屋大物搬入口屋上部のたまり水から高い濃度の放射性物質が検出されたことから、降雨時に雨水がK排水路から港湾外に流出していたとの報告を受けました。なお、これまで港湾外の海水中放射能濃度に有意な変化は観測されてお  
りません。

(問い合わせ 024-521-1917)